

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議（第16回）				
開催日時	平成22年11月25日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者：</p> <p>（委員）神谷・桑原・小林・小山・島崎・土田・當間・森・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主事 野崎</p> <p>欠席者：（委員）なし</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1．あいさつ</p> <p>2．報告事項</p> <p>（1）平成22年度放課後子ども教室運営委員会（第1回）について</p> <p>（2）平成22年度青少年健全育成大会について</p> <p>3．協議事項</p> <p>（1）平成23年度社会教育関係団体への補助金について</p> <p>（2）今期研究テーマ提言書の概要について</p> <p>4．その他</p> <p>（1）第18回会議日程について</p> <p>（2）東京都市町村社会教育委員連絡協議会事業について</p> <p>5．閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 神山・野沢・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111（内線3513）</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1．あいさつ</p> <p>議長</p> <p>だんだん寒い気候になってきたので、皆さまにはお身体に気をつけていただき、今期研究テーマ提言書の作成に取り組んでいきたい。今回も皆さんの積極的な発言をお願いしたい。</p> <p>課長</p> <p>今月をもって市民文化祭、青少年健全育成大会が無事に終了したが、今後も、成人式など社会教育関係行事が多く開催されるので、お時間のある方はぜひ足を運んでいただきたい。</p>					

2. 報告事項

(1) 平成22年度放課後子ども教室運営委員会(第1回)について

議長

社会教育委員会議選出委員として議長が出席した。平成22年9月より新たに秋津小学校、青葉小学校で当事業が開始され、平成19年度より実施している大岱小学校と合わせて3校の実施となった。各学校の参加者数などの報告があった。

(2) 青少年健全育成大会について

課長

中学生主張大会作文部門に13人が、絵画部門に10人が入選し、入選者の発表会が行われた。また、社会福祉活動に貢献した方、スポーツの指導活動、青少対のリーダー、青少年委員会「輝け!東村山っ子育成塾」のリーダーとしてそれぞれ児童の指導育成に貢献した方が5名、青少年善行表彰の対象となり、主張大会入選者とともに市長より表彰状が授与された。昨年度よりも来場者が少なかったのが残念である。今後、更なるPR活動に努めたい。

A委員

善行表彰された青少年に対するインタビューがよかった。何に貢献したのか来場者にわかりやすかった。

B委員

中学生が素晴らしい発表を行ったにもかかわらず、来場者が少なかったのが非常に残念である。学校関係者や生徒にもっと参加を呼び掛けてよいのではないか。出品した生徒はなるべく参加したほうがよいのではないか。入選者の発表を直に聴くことで学べる人が多いと思う。

C委員

学校行事と重なってしまったところもあったようである。スケジュールの調整が必要ではないか。

課長

皆さんのご意見を基に、来年度は改善できるよう検討を進めていきたい。

3. 協議事項

(1) 平成23年度社会教育関係団体への補助金について

課長

平成23年度、土曜開放推進団体、市民文化祭実行委員会、PTA連合協議会、青少年対策地区委員会に補助金を交付する予定である。これについて質問や意見があれば伺いたい。

D委員

土曜開放事業は団体によって規模にばらつきがあるようだが、補助金はどのように分配しているのか。

課長

各団体の前年度の実績報告額や今年度の申請額に基づいて、申請見込み額の合計を算出した。事業規模の大きな団体は殆ど満額の25万円を申請しているが、事業規模の小さい団体については申請額が10万円に満たないところもある。各団体とも用途については適切な報告を受けており、残金が発生した場合は戻入されている。全委員より承認される。

(2) 今期研究テーマ提言書の概要について

議長

前回会議における皆さんからの指摘事項を踏まえ、提言書の案文を修正した。皆さんには事前にメール等で送付し、内容を確認していただいたところである。今回も提言書の体裁および本文の具体的な内容について引き続きご意見をいただきたい。

E委員

社会教育関連団体への提案が「総論」と「各論」に分かれているが、違いがはっきりしない。あえて分けなくてもよいのではないか。

議長

構成を再度精査する。

F委員

団体の課題解決について述べている項目の中でそれぞれの団体に応じた個々の対策について触れられているが、具体的にどんな対策をしたらよいのか言及するべきである。

議長

協議の上、具体的に内容を詰めていきたい。

G委員

社会教育関連団体発足当時の理念を振り返る項目の中で、青少年委員について触れているが、青少年委員は「東村山市青少年委員に関する規則」によって設置された非常勤の特別職の職員であるため、アンケートの対象団体となっていない。したがって青少年委員に関する記述は外したほうがよいのではないか。

議長

青少年委員に関する記述は取りやめる。

H委員

前回会議で、全ての言い回しを断言調にするのを避けた方がよいという意見があったが、一般的な概念はむしろ断定調にすべきで、提案を「～だろうか」と表現した方がよいのではないか。

議長

文章の表現方法や、段落分けについて多数の意見があったが、これらを次回定例会の討議資料の中に反映させるよう、議長の方で鋭意作業を進める。また、アンケートの分析方法についても協議していきたいので、皆さんにも方法を考えていただきたい。

4. その他

(1) 第18回会議日程について

- ・第18回会議 平成23年1月25日(火)午後7時～教育委員会室
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会事業について

- ・事務局より別紙資料に沿って説明

5. 閉会